

平成29年度青い羽根募金強調運動期間終了

平成29年7月1日から開始されました「青い羽根募金強調運動期間」が、8月31日をもって終了しました。

本期間中、本会では、ミス日本「海の日」による国土交通大臣等の表敬訪問など「青い羽根募金着用キャンペーン」を実施したほか、7月26日に開催された平成29年「海の日」海事関係功労者表彰祝賀会において、受賞者及び来場されたすべての方々に青い羽根を着用していただくと共に青い羽根募金にご協力していただきました。

また、各地のイベント等において地方水難救済会独自の「青い羽根募金」活動を実施、多くの方々からご賛同をいただき青い羽根募金にご協力していただきました。

【主な各地の活動状況】

① 愛知県水難救済会

愛知県水難救済会では、平成29年に入り愛知県内の救難所・救難支所が相次いで開設され、愛知県内の水難救済体制が一層強化されました。

救助員約1,500名にも及ぶ組織の救難体制の強化には、地元の安全・安心に多いに貢献するものと期待が高まっています。

このような中、7月18日の愛知県知事定例記者会見において、大村秀章知事の青い羽根着用と青い羽根募金活動の趣旨を説明していただき、幅広く県民の皆様へ募金活動の啓発をしていただきましたことは、海の救助ボランティアを支える大きな力となりました。



<青い羽根を着用され定例記者会見中の大村秀章知事>

好きです 海が 守ります あなたを 青い羽根



次頁につづく

② 公益社団法人 福岡県水難救済会

7月17日の海の日記念行事として行われた博多港ポートフェスタ「港へおいでよ！海の日ポートフェスタ2017」において、福岡海上保安部と協力して、巡視船らいざんの一般公開に併せ大岳救難所所属救助船「おおたけ2」の試乗会が実施されました。

救助船「おおたけ2」は、昨年10月に、福岡市東区大岳に拠点を置く大岳救難所に配属された最新鋭の多目的ジェット救助艇で、就役から僅か10カ月の間に4件の海難救助を実施、中でも8月9日に発生した強風吹き荒れる博多湾内において、突風で転覆した漁船の船底につかまっていた船長を迅速かつ確実に救助するなど目覚ましい活躍を見せている。

福岡県水難救済会では、この逞しい最新鋭多目的ジェット救助艇を多くの方に試乗していただき、海の救助ボランティアによる水難救済事業や青い羽根募金への理解が更に深まるものと期待している。



試乗会には多くの一般市民が参加



福岡海洋少年団も参加しました



福岡海上保安部長から委嘱を受けた
「一日海上保安部長」も試乗 ⇒



③ 特定非営利活動法人 長崎県水難救済会

7月29、30日に開催された長崎の夏の伝統行事である長崎ペーロン選手権大会において、会場の一角で水難救済会の広報及び青い羽根募金を実施しました。



長崎国際観光コンベンション協会
発行の観光ポスター

青い羽根募金にご協力を
いただきありがとうございました

